

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	大量出血した場合の止血機能の研究 (血小板機能低下に対して新鮮凍結血漿や血小板製剤投与がトロンボエラストメトリー(ROTEM)上の血餅硬度や血餅安定化に及ぼす影響)
研究期間（西暦）	2019年9月～2023年12月
研究機関名	東京女子医科大学東医療センター
研究責任者職氏名	教授 小森 万希子

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

人工心肺装置を使用した心臓手術において、人工心肺装置内に充填した輸液により血液が薄められ、さらに血液を固めるための物質が活性化し消耗するために出血しやすくなります。人工心肺装置とは、心臓手術において心臓を停止させ、心臓への血流を遮断しますが、その際に心臓と肺の機能を代行する装置です。この装置の使用により、特に傷口に蓋をする役割がある血小板の機能が低下しやすくなります。こうした出血しやすい状況を是正するために、どのタイミングでどのような血液製剤をどのくらい投与したらよいのかを明らかにいたします。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：血漿（規格外）、血小板（規格外）

献血血液等の情報：なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

一般市民を対象とした臨床研究参加者から採取した血液を、遠心力により分離し作成した血小板の数が低下した血液や、人工心肺終了後の血が止まりにくくなっている血液に日本赤十字社から分配を受けた新鮮凍結血漿や血小板製剤を添加し、以下の項目を測定します。

- ① 血の塊である血餅の強度を測定するトロンボエラストメトリーによる血の固まりやすさ
- ② 血小板の数および血小板が凝集する機能
- ③ フィブリノゲン濃度など血の固まりやすさに影響を及ぼす因子

5 献血血液等を使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人が特定できる状態であれば同意の撤回ができます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載に従って連絡をお願いいたします。

受付番号	R020031
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京女子医科大学東医療センター麻酔科
担当者	市川 順子
電話	03-3810-1111 (内線 7823)
Mail	htwfx872@yahoo.co.jp